



全日病S-QUE看護師特定行為研修

臨床推論

共通科目



3.医療面接の理論と演習・実習 ロールプレイ (2)

筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 講師

阪本 直人 氏

行動変容

～演習編～

講師: 阪本 直人

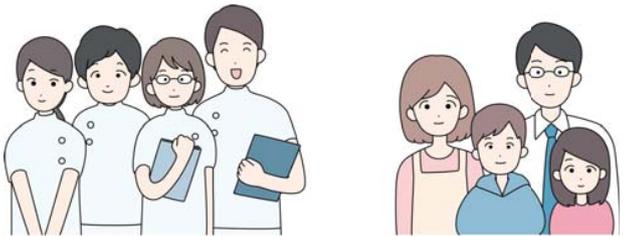
筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 講師
筑波大学附属病院 総合診療グループ
家庭医療専門医・指導医／内科認定医・指導医
日本ヘルスプロモーション学会 常任理事・評議員
日本プライマリ・ケア連合学会 ICT委員・代議員

禁煙・運動支援を例に

- 行動変容のステージを把握
- ステージに合わせた介入のコツ

チームの作り方

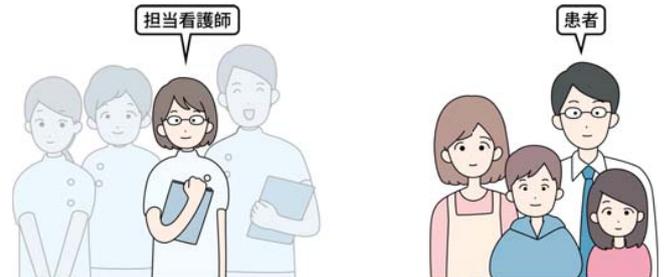
- 3-5人単位で、チームを作ります
- 医療チームと患者・家族チームでペアを作ります



医療チーム ↔ 患者・家族チーム

班の中で1人ずつ 窓口を決めて下さい

- 1人、担当看護師役
- 1人、患者役
- 他の人は、作戦会議の際にアドバイス
- 他の人は、家族役で登場
- 家族は、アドリブ参加となります



シナリオを配ります

- ✓ 患者・家族役用
- ✓ 医療者役用
- ✓ シナリオを参考に、
その他の設定は自由

1回目のPOINT

- 1回目の面接では
- ✓ 「ステージ判断」と
 - ✓ 「障害探し」
を中心に

時間配分 (初回のみステップごとにSTOPします)

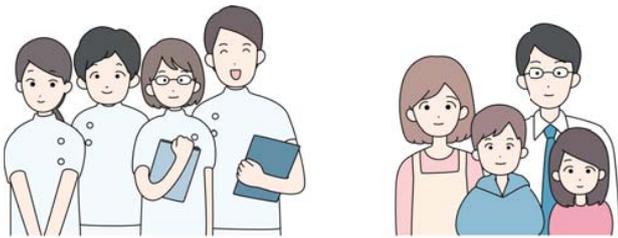
- 3分: 準備
患者さんのステージ、家族構成、キャラ設定など
- 2分: 面接① (ステージ・ファクター探し)
- 5分: 作戦会議
- 2分: 面接② (介入)
- 3分: 感想

ディスカッションのポイント

- シナリオ開示:
ステージの確認と障害の評価
- 担当看護師役:
うまくできた点、難しかった点など
- 患者役: 担当看護師役へフィードバック
良かった点、介入して欲しかった点
- その他の参加者から感想など

2回目以降

医療チーム ↔ 患者・家族チーム
主役は、先ほどと別の人にしてもOK



時間配分 (2回目以降はノンストップ)

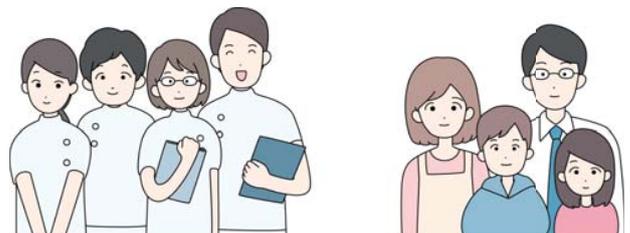
- 3分: 準備
患者さんのステージ、家族構成、キャラ設定など
 - 面接 (ステージ・ファクター探し、介入)
手元のシナリオに行動変容のステージを記入して下さい
 - 適宜、作戦会議
 - 7分: 感想と互いにアドバイス
- } 10分

ディスカッションのポイント

- シナリオ開示:
ステージの確認と障害の評価
- 担当看護師役:
うまくできた点、難しかった点など
- 患者役: 担当看護師役へフィードバック
良かった点、介入して欲しかった点
- その他の参加者から感想など

3回目以降も2回目と同様のやり方です

医療チーム ↔ 患者・家族チーム
主役は、なるべく、先ほどと別の人にして下さい



ディスカッションのポイント

- シナリオ開示:
ステージの確認と障害の評価
- 担当看護師役:
うまくできた点、難しかった点など
- 患者役:担当看護師役へフィードバック
良かった点、介入して欲しかった点
- その他の参加者から感想など

運用方法について

- 各班は、少なくとも1回ずつ、医療者チームと患者・家族チームを経験しておく
よいでしょう。
- 行動変容のステージや難易度の異なるシナリオを用意しております。
- 全て実施することが望ましいですが、実施できる時間や参加者のレベルに合わせて、用意されたシナリオを選んでください。

まとめ

- 行動変容のステージ判断と障害探しが最も重要
- 患者・家族が主体的にできるように支援
- あくまでも、患者さんの目標に合わせて、
ともに進んでゆく姿勢で。
(医療者の目標になってしまわないように)